

防衛省中国四国防衛局長
森田 治男 殿

要 請 書

令和2年10月26日

徳 島 県

要 請 書

日頃は、我が国の平和と国民の安全のために、御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、これまで本県では、本県上空で米軍機による低空飛行訓練が実施されないよう、国に対し、繰り返し要請してきたところであります。

しかし、本年度においても、米軍機と見られる航空機の低空飛行訓練の目撃情報は、平成11年、日米により飛行高度について、航空法を遵守する旨の合意がされて以降、最多であった昨年度を上回るペースで、10月22日現在で、33日となっています。

中には、住宅地上空を飛行するオスプレイや、最近では特に山間地等における輸送機の日撃情報も多く寄せられています。また、夜間の飛行に関する情報も増える傾向にあり、こうした飛行は、住民の平穏な生活を乱すだけでなく、万が一の事故時に甚大な被害が想定されるものであり、周辺住民に強い恐怖と不安を与えています。

以上のことから、県民の安全・安心を確保するため、下記について、改めて強く要請いたします。

- 1 日米合同委員会の合意等に反する低空飛行訓練や住民に不安や懸念を抱かせるような飛行訓練が実施されないよう対処すること
- 2 事前に可能な限り詳細な飛行訓練に関する情報を把握し、時間的余裕を持って提供すること
- 3 国の責任において騒音測定器を設置するなど、米軍機の低空飛行の実態把握に努めること

令和2年10月26日

徳島県経営戦略部長 板東 安彦

防衛省中国四国防衛局長

森田 治男 殿

要 請 書

三好市長 黒川 征一

那賀町長 坂口 博文

牟岐町長 枅富 治

海陽町長 三浦 茂貴

要 請 書

日頃は、我が国の平和と国民の安全のために、御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

本県の南部及び西部のいわゆる「オレンジルート」上の市町では、米軍機が度々目撃されており、これまで県において、本県上空で米軍機による低空飛行訓練が実施されないよう、国に対し、繰り返し要請いただいているところであります。

しかしながら、本年４月以降も、米軍機と見られる航空機の低空飛行訓練の目撃回数が、増加しており、ここ１０年程度で最多であった昨年度を上回るペースとなっています。

中には、オスプレイや夜間における輸送機とみられる目撃情報が寄せられるなど、周辺の住民は、機体から発せられる轟音や事故に対する不安により、安寧な生活が脅かされ、大きな負担となっています。

以上のことから、住民の安全・安心を確保するため、下記について強く要請いたします。

- 1 住民に不安や懸念を抱かせるような米軍機の低空飛行訓練が実施されないよう対処すること
- 2 事前に可能な限り詳細な飛行訓練に関する情報を把握し、時間的余裕を持って提供すること
- 3 国の責任において騒音測定器を設置し、米軍機による騒音を測定するなど、米軍機の低空飛行の実態把握に努めること

令和２年１０月２６日

防衛省中国四国防衛局長
森 田 治 男 殿

要 請 書

那賀町議会議長 古 野 司

牟岐町議会議長 一 山 稔

海陽町議会議長 戸 田 真理子

要 請 書

日頃は、我が国の平和と国民の安全のために、ご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

徳島県南部に位置する海部郡、那賀郡は、いわゆる「オレンジルート」上に位置し、米軍機が度々目撃されており、これまで県において、本県上空で米軍機による低空飛行訓練が実施されないよう、国に対し、繰り返し要請いただいていたところであります。

しかしながら、本年４月以降も、米軍機と見られる航空機の低空飛行訓練の目撃回数が、増加しており、ここ１０年程度で最多であった昨年度を上回るペースとなっています。

中には、オスプレイや夜間における輸送機とみられる目撃情報が寄せられるなど、周辺の住民は、機体から発せられる轟音や事故に対する不安により、安寧な生活が脅かされ、大きな負担となっています。

以上のことから、住民の安全・安心を確保するため、下記について強く要請いたします。

- 1 住民に不安や懸念を抱かせるような米軍機の低空飛行訓練が実施されないよう対処すること
- 2 事前に可能な限り詳細な飛行訓練に関する情報を把握し、時間的余裕を持って提供すること
- 3 国の責任において騒音測定器を設置し、米軍機による騒音を測定するなど、米軍機の低空飛行の実態把握に努めること

令和２年１０月２６日